



丸森中学校だより

令和8年1月8日(木) 第14号

# 水<sup>きらめ</sup>煌<sup>き</sup>緑<sup>も</sup>萌<sup>ゆ</sup>

〒981-2167 宮城県伊具郡丸森町字田町南 24-2 ☎ 0224-72-2145 FAX 0224-72-1516

志をもって学び続ける生徒の育成

- 確かな学力：「志学」
- 豊かな心：「至誠」
- 健やかな体：「修練」

## 「丸森だから、できる」1年に

校長 軽部 敦子

明けましておめでとうございます。今年は午年。力強く、前を向いて駆け抜ける姿から 成長や躍動の年と言われている。みなさんは、新年どんな目標を立てましたか。そして、目標達成のために行動できていますか。残り3か月で、それぞれ進学・進級を迎えます。今の自分、学年集団がどのように成長し、躍動できたか。1年を振り返った時、結果として表れます。12月の全校集会では「環境が人をつくる」という話をしました。まさに、今日からの一日を前向きでよりよく生きるために環境を整え、自分で考え、選択していくこと、そして目標に向かって努力することが成長や躍動につながります。いつも笑顔で元気な人を見れば笑顔で元気になるように心のモチベーションというものは、上がるにしても下がるにしても他の人に伝染するものだと思います。言葉遣いや行動は、目に見え、聞こえ、感じるものですから、温かく、丁寧に心を込めて発することをそれぞれが意識できるともっとよくなります。一日一日を大切に今年度を締めくくってほしいと思います。

最後に12月29日付河北新報とうほく Genki プロジェクトの記事 米大リーグ・エンゼルス投手菊池雄星氏の「岩手だから、できる」の記事を紹介します。

僕の野球人生は、「岩手だからできない」という逆境から始まった。高校野球抽選会で岩手代表が引かれると「よっしゃー」と声上がり、プロになるのは岩手の人間は無理だと言われたこともある。ドジャースの大谷選手も二刀流は無理だと言われた。何かを達成した人たちは笑われた時期や逆境があった。今でもつらいことはあるが、みんなこの道を通ってきたんだと思うようにしている。僕は自分で特別な才能があると思っていなかった。小学校の体力テストも平均より少し上くらい。その分やり続ける「習慣」と、どうすれば勝てるかを「考える力」を大切にしてきた。好きなことを見つけるためにはいろいろなご飯を食べる感覚で、いろいろな経験や人との出会い、本を読むことが大事だと思う。…中2の時、家計の苦しさを目の当たりにして「プロ野球選手になって家族を楽にさせる」と母に宣言した。当時は三番手ピッチャーで、何の保障もなかったが、母は背中を押してくれた。…中2から卒業するまで、友人と遊ぶ時間を犠牲にし、学校から帰ると毎日10時まで練習を続けた。野球は少しずつうまくなるのではなく、こつをつかむといきなりうまくなる。練習は、うまくなるこつをつかむためにチャンスは100回練習するよりも1000回練習した方が多くなる。花巻東高入学後、監督から「雄星は注目される立場になる。だから誰よりも嫌なことを続けなさい」と言われ、3年間トイレ掃除をやった。チームメイトには「日本一になるために来たんだろ」と厳しく接した。甲子園で勝ち進むごとに応援してくれる人が増え、一生忘れられない思い出を岩手の皆さんと共有できた。今も励みになっており、岩手には特別な思いがある。…続く。

菊池選手の記事の見出しは「**継続の姿勢 未来を変え、可能性を信じ 夢かなえて**」結果を出すまではつらいが、何事もやり続ける姿勢は大事にしてほしい。というメッセージを残しています。そして、「丸森だからできない」ではなく、「丸森だから、できる」を発信できる年にしたいと勇気をもらいました。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、冬休み中、子供たちが地域の行事に参加したり伝統にふれたりするなど有意義に過ごしたことと思います。これから3月の卒業・修了まで、3年生高校受験、2年生総合的な学習の時間の発表、期末考査、3年生を送る会などが予定されています。今年もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。